



公益財団法人 国際文化会館
International House of Japan

日文研・アイハウス連携フォーラム

日系ブラジル社会の集い

—カラオケ、映画、俳句

講師：細川 周平（日文研教授）

コメンテーター：アンジェロ・イシ（武蔵大学教授）

2018年 **7/27** (金) 6:30-8:00 pm (開場 6:00 pm)

会場：国際文化会館 講堂 用語：日本語（通訳なし） 参加費：無料（要予約）

1908（明治41）年に日本人のブラジル移住が始まってから110年。日系ブラジル移民たちは生業である農業・商工業などに従事する一方で、楽しみを求めて集い、マイノリティとしての生活の拠りどころとしてきました。そうした集いは一般社会に対する心理防衛的な意味を持つとともに、母国と繋がり情報を得る場、日本語で自己を表現し子孫と繋がる場として、重要な役割を果たしてきました。本講演では、1910～20年代から記録が残る句会や映画上映会をはじめ、日本映画専門館やのど自慢大会、カラオケ大会などを例に、移民たちの「集い」について考えます。



細川 周平（日文研教授）

2004年より在職。近代日本音楽史と日本移民文化を主な研究領域とする。主著に『サンバの国に演歌は流れる』（中公新書、1995年）、『シネマ屋、ブラジルに行く』（新潮選書、1998年）、『遠きにありてつくるもの』（みすず書房、2008年、読売文学賞受賞）、『日系ブラジル移民文学』（みすず書房、全二巻、2011・12年）。編著に『日系文化を編み直す』（ミネルヴァ書房、2017年）など。



アンジェロ・イシ（武蔵大学教授）

サンパウロ生まれの日系三世。サンパウロ大学ジャーナリズム学科卒。東京大学大学院総合文化研究科博士課程を経て、ポルトガル語新聞の編集長を務めた。日伯の移民・メディア研究の傍ら、ブラジル市民代表者会議の評議員、海外日系人協会の理事を務める。総務省や外務省の多文化共生関連委員会の委員も歴任。著書に『ブラジルを知るための56章』（明石書店、2010年）など。

❖ 国際文化会館（アイハウス）と国際日本文化研究センター（日文研）は、多角的に現代日本の理解を深めるためのフォーラムを、シリーズで共催しています。

お申し込み・お問い合わせ

国際文化会館 企画部（月-金 9 am-5 pm）
東京都港区六本木5-11-16 TEL:03-3470-3211
E-mail: program@i-house.or.jp <http://www.i-house.or.jp>

📄 講演当日、予約確認メールまたは本チラシをご提示の上、国際文化会館内のレストランでお食事いただいた方には食後のコーヒー/紅茶もしくはアイスクリーム(ザ・ガーデン)、グラスワイン(SAKURA)をサービスいたします。ご利用の際は、事前ご予約をお勧めいたします。

